

事務事業名	市道多久和六重線道路施設災害復旧事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	道路改良G	課長名 松村 直樹
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	内田 貴宏	電話番号 0854-40-1063 (内線) 2473
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	0:1 5 5 0:1 項 目 中事業 中事業	公共土木災害総務管理 事業 公共土木災害総務管理 事業
	目的・対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
災害発生箇所	道路の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R5 年度～ R8 年度)	本路線は飯石地区と中野地区の集落間を結ぶ生活道路として、重要な役割を担っている。また、市の観光スポットである雲見滝への唯一のアクセス道でもあり、地域に欠かせない道路である。令和5年5月に発生した地すべり災害により、利用者は大きく迂回を余儀なくされていることから、早期の復旧が望まれている。整備延長 L=87m 幅員 W=5.0m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・地すべり調査業務(その1～3) ・用地調査業務	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 設計時に工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
整備率(供用延長／整備計画延長)	%		0.0	0.0	10.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【一般財源】 (委託費): 87,020千円 (合 計): 87,020千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円				87,020	
	事業費計		千円		0	0	87,020	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和5年度は調査業務を発注し、地すべりの機構解析を行った。その調査結果を基に、国土交通省と事前協議を行い、地すべり運動について了解を得た。
② 事業実施するうえでの課題	査定後に早期に発注し、令和8年度に工事を完成させる必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	地すべり内での工事となるため、安全対策を十分におこなう。また、工程管理をしっかりとこない、工期内の完了を目指す。